

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	034 地域を支える人材づくり					担当部課	市民部市民活動課
予算科目	01-030110-17 自治会関係に要する経費					係名	自治振興係
市長公約	10-1						
戦略プラン	I-1	2	2	地域を支える人材づくり		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画	—					事業期間	毎年度
根拠法令等	—					SDGs	16平和と公正をすべての人に
							17パートナーシップで目標を達成しよ

事業の概要

対象	市民
目的	市民と行政との意思疎通を図り、地域コミュニティ活動の活性化を目指す。
概要 (取組内容)	市長・区長サミット及び地区リーダー勉強会を実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	350	283	356	356	
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	1,700	1,712	1,709	1,709	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.25	0.25	0.25	0.25
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(—)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	人材づくりイベントの参加者数 (人)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	地区リーダー勉強会の参加者数（個別施策 I-1-②区会加入及び新規区会設立促進と活動支援 指標 1）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	東日本大震災から10年が経過し、その後も大規模な自然災害が全国各地で発生しており、被害を最小限にとどめるためには、住民一人一人が災害のリスクについて認識し、自分の身は自分で守る「自助」、自治会や自主防災組織など、地域で互いに助け合う「共助」に関する内容を検討した。	
成果	市長・区長サミットについては、令和4年2月に開催を予定したが新型コロナウイルス感染拡大により中止した。また、地区リーダー勉強会についても、6月に開催を予定したが延期し、再度8月に開催を予定したが、県独自の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に伴い、中止した。	
課題	業務	各地域のコミュニティ活動をより活性化するため、地域社会のリーダーである区長へ向けた勉強会（講演会等）の内容を引き続き検討していく。
	組織、予算等	市区会連合会及び各地区区会連合会と連携して事業を進めていく。
改善目標	地域のリーダーである区長の担い手不足など、区会における近年の課題をテーマにした勉強会（講演会等）を開催して、その解決策を検討していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	146 花と緑の市民参加事業						
予算科目	01-030110-12 コミュニティ推進に要する経費			担当部課	市民部市民活動課		
市長公約				係名	市民協働係		
戦略プラン				新規・継続	継続		
				事業分類	自治事務（任意）		
				事業体制	一部委託		
個別計画	つくば市きれいなまちづくり第3次行動計画 第2次つくば市環境基本計画			事業期間	毎年度		
根拠法令等				SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう		

事業の概要

対象	市民					
目的	まちの環境美化意識を高めるとともに地域のコミュニティの活性化を図る。					
概要 (取組内容)	事業参加団体への花苗配布を春と秋に行い、各地域の公共的な空間を季節の花で飾り花壇を維持管理することで、市内の環境美化を行い、来訪者への歓迎の気持ちを発信するとともに、地域コミュニティの可視化を進める。					

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	6,256	6,137	4,964	4,999	5,000	
	決算額	(千円)	5,846	5,484	4,533	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,846	5,484	4,533	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,130	2,880	4,149	4,258	4,258	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	169.00	65.00	20.00	65.00	65.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	花苗配布団体数 (団体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	125.0	127.0	140.0	145.0	150.0	155.0
実績	119.0	133.0	144.0	0.0	0.0	0.0	
指標の概要	各地区の公共的な場所で植栽を行うウェルカムフラワー事業に参加する市民活動団体等の数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	花と緑の美化活動事業について市公式フェイスブックページ「つくば市民活動のひろば」を活用し、定期的な情報発信を行った。	
成果	事業参加団体による美化活動によって、地域活動拠点の可視化とともに、地域コミュニティの活性化が図られた。	
課題	業務	来訪者への歓迎の気持ちを発信できるように、より公共的な空間で花を管理していただく方法を検討する必要がある。
	組織、予算等	参加団体を増やすために、予算効率の向上を図る必要がある。
改善目標	より多くの市民団体に花苗の配布ができるように、現在より安価でありながら来訪者への歓迎の気持ちを伝えられるような花を選定するとともに、より公共的な空間に花壇を設置するために情報発信を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	一

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	147 コミュニティ助成事業						
予算科目	01-030110-12 コミュニティ推進に要する経費			担当部課	市民部市民活動課		
市長公約				係名	市民協働係		
戦略プラン				新規・継続	継続		
				事業分類	自治事務（任意）		
				事業体制	職員のみ		
個別計画				事業期間	毎年度		
根拠法令等	自治総合センターコミュニティ助成事業実施要綱			SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう		

事業の概要

対象	区会
目的	地域のコミュニティ活動の充実・強化を図る。
概要 (取組内容)	<p>（一財）自治総合センターが行う全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受入れる、宝くじの受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に必要な備品や集会所の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力のある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉に寄与する。</p> <p>申請はつくば市・茨城県経由で行われ、補助金はコミュニティ組織2団体を上限に交付される。</p> <p>市から事業申請できるコミュニティ組織は、つくば市区会連合会に所属している区会とし、抽選で2区会を決定する。</p>

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	決算額	(千円)	2,500	2,500	4,900	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	2,500	2,500	4,900	0	0
人件費	人件費計	(千円)	699	720	1,370	1,380	1,380	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	8.00	16.00	1.00	5.00	5.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	市から県に申請する申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	コミュニティ助成金の申請件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	申請者に向けて「提出資料一覧」の改定を行った。	
成果	道角区会・沼田区会の両区会に助成金が交付され、地域の祭りに関わる備品が整備されたことで、地域コミュニティの支援に寄与することができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	149 人権擁護事業					
予算科目	01-030110-13 人権擁護に要する経費			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	自治振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	人権擁護委員法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律			SDGs	16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民、児童・生徒
目的	人権尊重思想の普及拡大を図る。市民の人権を守り差別のない明るい社会の実現を目指す。
概要 (取組内容)	6月と12月に各2日間特設人権相談所を市役所内に開設する。 年間を通じて、いじめや差別などの人権問題解消に向け啓発活動を実施する。 人権擁護委員が講師となり、小中学生を対象に人権教室を実施する。 人権啓発イベント（講演会等）を実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	1,402	1,374	1,210	1,182	1,182	
	決算額	(千円)	1,299	1,160	995	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,299	1,160	995	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,895	4,166	4,103	4,562	4,562	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	190.00	35.00	1.00	190.00	190.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	人権啓発イベント参加者率 (%)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	86.0	86.0	0.0	0.0	0.0
	実績	63.0	116.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	「人権講演会」の参加率（参加人数/募集人数×100）					

2	指標名	人権イベント参加者 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	100.0	150.0	160.0	170.0
	実績	0.0	0.0	153.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	新型コロナウイルス感染症の影響により、R3年度からYoutube開催としたため、募集人数がなく参加率が算出できないため、指標名を変更しました。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	テーマを「コロナの時代をどう生きるか」～心の健康のためにできること～として、現在の状況を配慮した講演会を市公式Youtubeチャンネルにて配信する方法で実施した。	
成果	前年度の現地開催時よりも20代～50代の申込が有意に増加した。60代以上の申込は大幅に減少したが、それでも全体の約2割を占めることから、オンライン開催であっても特定の世代を取り残すことはなく幅広い世代に啓発できた。	
課題	業務	人権啓発イベント（講演会）は、時代のニーズにあった内容を引き続き検討していく。
	組織、予算等	人権に関する業務は、自治振興係で対応しているが、当係の業務は主に自治会関連業務が中心となる。人権に関する業務は、課内室と連携した業務となり、今後多様化する人権課題に対応するためには、組織の見直しを関係部署と検討していく。
改善目標	「人権」については比較的固いテーマであるため、現地開催よりオンライン開催にしたほうが参加の敷居が低いと考えられる。また、特に多忙な現役世代（20代～50代）にも空き時間等に気軽に視聴してもらえることから、来年度以降もオンライン開催を検討していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	150 更生保護事業					
予算科目	01-030110-14 更生保護に要する経費			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	自治振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	保護司法			SDGs	16平和と公正をすべての人に	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	市民
目的	罪を犯した人たちの更生を助けるとともに、犯罪の未然防止や青少年の健全育成に努め、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指す。
概要 (取組内容)	つくば市の保護司とつくば市更生保護女性会で構成されるつくば市更生保護連合会の活動を支援する。 つくば地区更生保護サポートセンターの運営を支援する。 「社会を明るくする運動つくば市大会」を開催し、更生保護に関する啓発キャンペーン及び講演会を実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	1,664	2,062	1,975	2,022	2,022	
	決算額	(千円)	1,639	1,297	1,525	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,639	1,297	1,525	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,895	4,103	4,164	4,562	4,562	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	190.00	9.00	26.00	190.00	190.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	啓発活動参加者数 (人)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績	118.0	0.0	61.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	「社会を明るくする運動つくば市大会」の参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため「社会を明るくする運動」をはじめとする更生保護活動について、本庁舎1階の展示スペースやホームページ等を活用して、市民に広く周知することができた。	
成果	保護司会及び更生保護女性会が行っている、罪を犯してしまった人の立ち直りの援助や、犯罪予防のための様々な活動について支援ができた。	
課題	業務	社会を明るくする運動を通して、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため、引き続き市民に広く周知していく。
	組織、予算等	更生保護に関する業務は、自治振興係で担当しているが、当係の業務は主に自治会関連業務が中心となる。そのため、庁内で更生保護に係る部署への組織の見直しが必要と考え、関係部署と検討をしていく。
改善目標	保護司会及び更生保護女性会の活動を支援し、「社会を明るくする運動」等を通して更生保護活動を広く周知していく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	151 非核平和都市宣言事業					
予算科目	01-030110-16 非核平和都市宣言に要する経費			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	市民協働係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市非核平和都市宣言			SDGs	16平和と公正をすべての人に	

事業の概要

対象	市民
目的	非核平和に関する啓発事業等を通じ、市民の平和擁護に対する意識の醸成及び高揚を図る。
概要 (取組内容)	<p>平和体験教室：市内小学5、6年生を対象に、「埼玉ピースミュージアム」を見学し、平和について学習する。</p> <p>青少年ピースフォーラム派遣事業：長崎県長崎市で毎年8月8～10日に行われる、「青少年ピースフォーラム」に市内中学生6名を平和大使として派遣する。</p> <p>平和パネル展：つくば市の平和事業の紹介、原爆資料、核兵器データ、ピースデー、「平和体験教室」「青少年ピースフォーラム」での学習成果などを市民文化祭等で展示する。</p>

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	1,331	1,729	457	579	1,800	
	決算額	(千円)	1,388	89	105	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,388	89	105	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,564	1,439	1,367	2,063	2,245	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	84.00	32.00	0.00	5.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	平和体験教室参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市内小学生5・6年生対象の平和体験教室への参加人数 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2・3年度の平和体験教室は中止となった。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	「平和パネル展」において、視覚的展示品を多用することで多世代に向けた展示の改善を行った。	
成果	展示用パネル紙面の選別においては、文字数を少なくし、写真が占める割合を高くしたことで、多世代に平和の大切さを伝承していく「平和パネル展」を実施することができた。	
課題	業務	新型コロナウイルス感染症の影響により、安全面の確保の観点から青少年ピースフォーラムへの派遣ができなくなっているため、代替え事業の可否について検討する必要がある。
	組織、予算等	代替え事業を検討する際、学校長会など関係機関との連携を図る必要がある。
改善目標	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮に入れながら、代替え事業を含めた新たな平和に関する現地学習会を、安全面に留意しながら実施する方向で進めていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	一

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	152 区会活動振興事業						担当部課	市民部市民活動課
予算科目	01-030110-17 自治会関係に要する経費						係名	自治振興係
市長公約	10-1						新規・継続	継続
戦略プラン	I-1	2	3	区会運営に対する支援			事業分類	自治事務（任意）
	I-1	2	4	区会の負担軽減			事業体制	一部委託
	I-1	2	1	区会加入及び新規区会設立促進			事業期間	毎年度
個別計画	-						SDGs	16平和と公正をすべての人に
根拠法令等	-							17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市民
目的	地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域の活性化を図る。
概要 (取組内容)	区会に対して行政文書の配布回覧を委託し、行政情報を周知する。 区会活動の紹介や加入促進活動などで日頃から助けあえる地域コミュニティの大切さを啓発する。 区会から申請を受け、地区集会所建築等補助金交付要綱に基づき、集会所の新築・増改築・修繕に対し補助を行う。 老朽化した地区案内板を撤去する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	152,220	146,617	144,035	144,035	
	決算額	(千円)	149,239	0	141,250	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	149,239	0	141,250	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	17,314	11,572	10,597	11,613	11,613	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.40	1.55	1.55	1.55	1.55
		正職員時間外勤務	(時間)	420.00	420.00	2.00	420.00	420.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	区会加入促進及び新規区会設立啓発業務数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	0.0	3.0	8.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-1-②区会加入及び新規区会設立促進と活動支援 指標 1)						

2	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	区会加入促進については、市民活動のひろば（Facebook）に区会活動等の照会を実施した。また、区会業務の負担軽減については、電子回覧の実証実験を前年度に引き続き実施した。さらに、令和5年4月から電子回覧の正式導入を予定しているため、市区会連合会と制度の変更の協議を開始した。				
成果	電子回覧の実証実験を42区会で実施した。紙回覧では、市から届く回覧文書を受け取る担当者（区長・役員・班長等）に負担が集中していたが、電子回覧にすることで、その負担を軽減することができた。また、地区集会所の建築等補助金については、修繕33件の補助金を交付し、区会活動の支援ができた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>持続可能な区会活動を推進するため、区会加入促進や区会業務の負担軽減を引き続き検討していく。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td>市区会連合会及び各地区区会連合会と連携して事業を進めていく。</td> </tr> </table>	業務	持続可能な区会活動を推進するため、区会加入促進や区会業務の負担軽減を引き続き検討していく。	組織、予算等	市区会連合会及び各地区区会連合会と連携して事業を進めていく。
業務	持続可能な区会活動を推進するため、区会加入促進や区会業務の負担軽減を引き続き検討していく。				
組織、予算等	市区会連合会及び各地区区会連合会と連携して事業を進めていく。				
改善目標	区会加入促進については、区会加入率の低いTX沿線を中心に検討していく。また、現在行政文書の回覧等を各区会へ業務委託としているが、電子回覧に向けて制度の変更（負担金等に移行）に向け検討していく。				

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	155 市民チャレンジへの支援					
予算科目	01-030110-20 市民協働推進に要する経費			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約				係名	市民協働係	
戦略プラン	I-1	1	1	市民チャレンジへの支援及び相談先の明確化	新規・継続	新規
	I-1	1	3	地域のコミュニティ拠点の可視化	事業分類	自治事務（任意）
個別計画					事業体制	一部委託
					事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば市市民協働ガイドライン				SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう

事業の概要

対象	市民
目的	住みよい地域社会づくりのため、住民同士が互いに協力できるように支援を行い、地域活動を促進し、チャレンジの連鎖が生まれる個性溢れる魅力あるまちづくりを目指す。
概要 (取組内容)	市民活動団体等からの相談を受けるとともに、取組を応援し、市民活動団体等の新たな活動を支援する。日常的な交流の場として気軽に立ち寄りやすい地域のコミュニティ拠点の設立支援や可視化を進める。行政の事業を法人・各団体等が行うことで、NPO活動等を活性化させ、より効果的・効率的な事業を展開する。市民活動情報の提供基盤を整備することで、市民協働推進を図るための広報活動を実施する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	628	800	1,000	1,040	1,000	
	決算額	(千円)	626	351	630	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	626	351	630	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,062	2,276	5,577	5,662	5,662	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.30	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	127.00	96.00	45.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

指標名	相談件数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
実績	0.0	1.0	27.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市民チャレンジへの相談件数（個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標 1）					

2	指標名	地域コミュニティ活動の拠点数 (箇所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	5.0	10.0	15.0	20.0	25.0
	実績	0.0	8.0	9.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	コミュニティ拠点の市ホームページへの掲載数 (個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標 1)					
3	指標名	団体等との協働事業実施数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	87.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
	実績	151.0	121.0	130.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	庁内各課等が市民団体等と連携・協働を図りながら実施している事業数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市公式フェイスブックページ「つくば市民活動のひろば」の投稿を、基本的に平日更新を続けたことで、多くの地域活動団体の紹介をすることができた。	
成果	市公式フェイスブックページ「つくば市民活動のひろば」の取材をとおして、多くの地域活動団体との協働関係が強化されるとともに、地域のコミュニティ拠点の可視化に寄与することができた。	
課題	業務	市民活動団体等の取組を応援するため、新たな相談体制を構築する必要がある。
	組織、予算等	多様化する相談内容に対応するため、職員の知識向上や外部委託を視野に入れた新規予算計上の必要性について検討する必要がある。
改善目標	多様化する相談内容に対応するため、専門的知識を有する個人又は団体の発掘及び委託契約の可能性について調査・研究を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	つくば市第2次戦略プランに掲げられた新規事業のため、発展的展開を行うべき施策であるため

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	157 アイラブつくばまちづくり補助金事務					
予算科目	01-030110-20 市民協働推進に要する経費			担当部課	市民部市民活動課	
市長公約	7-2			係名	市民協働係	
戦略プラン	I-1	1	4	アイラブつくばまちづくり補助金による市	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	アイラブつくばまちづくり補助金交付要綱				SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ

事業の概要

対象	市民活動団体
目的	個性豊かで活力あるまちづくりの実現を目指すため、市民主体の公益的な活動を応援する。
概要 (取組内容)	アイラブつくばまちづくり寄附基金を活用し、年3回の募集期限を設け、補助金を希望する団体の実施予定の事業に対して、ヒアリング審査を実施の上、可否を決定する。 事業実施後に実績報告により採択事業の評価を行う。 毎年9月には、「アイラブつくばまちづくり寄附基金」に寄付をいただいた方々へ感謝状の贈呈や、アイラブつくばまちづくり補助事業実践団体に実践団体証の交付、活動事例発表や市民活動の課題解決に向けた講演会を中心に「アイラブつくばまちづくりフォーラム」を開催する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	5,675	6,202	6,275	6,144	6,300	
	決算額	(千円)	1,727	1,068	824	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,103	904	824	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	624	164	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,695	4,321	7,620	7,639	7,639	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	254.00	98.00	42.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	シンポジウム・フォーラム
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	審議会等

指標の推移

1	指標名	補助金採択事業数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	24.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	実績	30.0	19.0	22.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標1)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市公式フェイスブックページ「つくば市民活動のひろば」で、アイラブつくばまちづくり補助金採択団体すべての事業紹介をするとともに、取材時には事業自立に向けた自主財源確保のための話し合いを行った。	
成果	アイラブつくばまちづくり寄附基金を有効活用し、市民活動団体等が自主的に提案された事業に対し、補助金を交付するとともに、担当部署の協力により事業自立に向けた支援を行うことができた。	
課題	業務	アイラブつくばまちづくり補助金交付回数終了後の自主財源確保に向けた話し合い方法について、採択団体からも現状とは違う方法での要望があったことから、改めて検討をする必要がある。
	組織、予算等	新型コロナウイルス感染症の影響により、補助金確定額の低下が著しいことから、予算編成について再考する必要がある。
改善目標	アイラブつくばまちづくり補助金交付回数終了後の自主財源確保に向けた採択団体のニーズについて、市公式フェイスブックページ「つくば市民活動のひろば」取材時に調査を行い、課題解決に向けた施策について調査・研究を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—